

【星と稲の訓】 朝に星を戴きて出で 努め励みて 我が伊米ヶ崎校及び伊米ヶ崎村の発展を期さん

## 幻の八色原飛行場



私の手元にある一冊の小冊子。表紙に『八色原飛行場建設の記憶』とあります。まだ製本されていない印刷所への入稿手前の冊子です。表紙名に「記憶」とあることから、確かな資料を基に編纂されたものでなく、人々の記憶の断片を紡いで作成されたものであることが想像できます。このことから分かるようにこの八色原飛行場は今では知る人も少ない幻の飛行場なのです。私がこの飛行場について知ったのは、伊米ヶ崎公民館の鎌田館長との雑談の中でした。戦時中、本土決戦に備えて秘密裏に今の大浦新田から十日町にかけて軍事用飛行場が造られていたというのです。それだけでも驚きなのですが、飛行場建設のため小学校も兵舎となり、多くの兵隊が泊まっていたこと、作業には小学生も駆り出されていたこと、完成記念演芸会が挙行されていた正にその日、終戦を告げる玉音放送があったこと等、戦時下の伊米ヶ崎の歴史の一端を知ることになりました。その当時の子どもたちもすでに80を越え、幻の八色原飛行場を伊米ヶ崎の歴史として刻むには時間が少なくなりました。そこで、この飛行場建設という地域の歴史を埋もれさせないように、その準備を急いで進めていることも合わせて教えてもらいました。その後、幸いにも私も学校の代表として作成委員に名を連ねることとなりました。私は、当時の伊米ヶ崎の人々が戦いに翻弄されながらも、懸命に生きてきたことを示す一つの証左として、子どもたちに伝えていかなければならないと考えました。この小冊子の原稿を読むと当時の食べ物や衣服等のくらしの様子や近くで見た兵隊のこと、運動場で行われた戦死者の弔い等、70年以上前の子どもたちが見たこと感じたことが生き生きと書かれています。この小冊子は作成して終わりではなく、これからこの小冊子を基に、地域での啓発活動等で活用していくことを考えているそうです。保護者、地域の皆様も機会があればぜひ目を通していただきたいと思います。学校でも、授業に生かし、地域、祖先の歴史をフィルターにして先の大戦を眺めることで、戦争の悲惨さや平和の尊さ、ふるさと伊米ヶ崎への愛着を感じとってほしいと考えています。『八色原飛行場建設の記憶』は今月下旬に発行予定だそうです。

さて、来月6日はあおば学習発表会が予定されています。4年前から、上学年は一人一人が、地域や学校についての歴史や自然等について、調べたいことを決め、地域の方に取材したり、資料を読んだりしてまとめたことをプレゼンテーション型で発表しています。ぜひ当日は、保護者の皆さんから、ご意見やご質問をしていただき、子どもたちの学習を深めてもらいたいと思います。ご来校お待ちしております！



# 最後まで走り抜け！ ～10/5 校内持久走記録会～

秋の晴天の下、校内持久走記録会が行われました。子どもたちは自分のためためあてに向かい、最後まで諦めることなく走り抜きました。記録会まで、休み時間の全校練習や体育の授業で一生懸命練習してきた成果だと思います。今年は保護者の皆様からの温かい声援もいただきました。子どもたちの励みになりました。ありがとうございました。

## ～校内持久走記録会 学年男女別 1位～

1年女子 1000m	八海 さくら	4分 53秒	4年女子 2300m	駒形 梨依奈	10分 27秒
男子 1000m	高村 拓海	4分 40秒	男子 2300m	森山 和貴	11分 56秒
2年女子 1600m	高橋 佳歩	7分 35秒	5年女子 2300m	坂大 萌胡	10分 16秒
男子 1600m	上村 颯真	7分 34秒	男子 2300m	小島 彪雅	11分 50秒
3年女子 1600m	八海 みなみ	6分 50秒	6年女子 2300m	荒井 結菜	12分 04秒
男子 1600m	皆川 煌希	6分 50秒	男子 2300m	南雲 皇	9分 42秒

# 技と体力の向上を目指して ～9/14 15 5.6 学年課外陸上記録会～

新型コロナウイルスの感染予防のため魚沼市親善陸上大会が中止となり、各小学校グラウンドで記録会が行われました。部長の南雲 皇さんを中心に、一人一人が競技はもちろん、友達の応援も精一杯行っていました。

## ～魚沼市親善陸上大会 入賞者（6位以内）～

### 【6年生】

・男子 1500m 6位 南雲 皇



5年生は、全ての学校が参加していないので参考記録です。

### 【5年生】参考記録

・女子走り幅跳び	1位	坂大 愛莉
・女子走り高跳び	1位	佐藤 滯
・女子80mハードル	3位	坂大 杏瑚
・女子走り幅跳び	3位	佐藤 莉南
・男子走り幅跳び	4位	佐藤里玖飛
・男子走り高跳び	4位	高橋 蒼来
・男子走り幅跳び	6位	小島 彪雅
・男子走り高跳び	6位	五十嵐大樹

# 満喫！秋の尾瀬 ～9/17 5学年尾瀬学習～

台風で延期になった尾瀬学習に行ってきました。水芭蕉などの初夏の尾瀬の自然は味わえませんでした。秋の尾瀬の清々しさの中で自然や環境、歴史について学んできました。重い荷物を背負い、最後まで弱音を吐かず、がんばって歩き通しました。今年も昨年に引き続き、日帰りでの実施で、友達との宿泊体験はできませんでしたが、ふるさと魚沼の雄大な尾瀬を満喫した貴重な体験となりました。



## 各種コンクールでの入賞者の紹介

魚沼市消防団 『小学生の防火標語』

優秀賞 6年 南雲 皇 「火事予防 気づける人が 命ある」

佳作 6年 上村 莉子 「まあいいや そんな油断で 火事起こる」



あいさつ運動(10/20～10/26) ご協力よろしくおねがします!

